

レース報告書

[1] 大会名
はつかいち縦断みやじま国際パワートライアスロン2023FINAL

[2] 開催日 2023年6月18日(日) スタート 8:10

[3] 開催地 廿日市市全体縦断コース76.5km

[4] 競技情報 ミドルディスタンス

スイム 1500m、バイク 55km、ラン 20km=ワンウェイコース

[5] 大会結果 総合23位(年代別4位)=4時間20分21秒

スイム24分06秒(22位) バイク2時間16分25秒(25位) ラン1時間39分50秒(48位)

【感想と想い】

終わりは、始まり！

コロナ禍において中止が続き自然消滅しそうだった今大会は、廿日市市元商工会会頭の細川氏、廿日市市長の松本太郎氏が再発起人のようなもので、「最後のけじめ」と位置づけで開催されました。

16年続いたこの大会は初代チャンピオンとしてスタートし、2回の総合優勝がありますがどちらかといえば苦しいことの方が多かったように感じます。レース中に落車骨折しながらもゴールした時も、大きなけがで入院中に応援だけはと駆け付け選手を応援したときも、体調が合わず大崩れした時もありました。あまりにも過酷なコースのため、やってみなければわからない勝てる自信なんてないような大会でした。

ただこの16年間で2回の総合優勝した日が6月17日！これは私の妻の誕生日。また息子の速人の誕生日でもあります。オチとしては6月23日自分の誕生日も1回ありましたが、この時は大崩れした結果だった記憶があります。人はベクトルの方向…自分のために向けると以外に弱い。「誰かのために！」がその人の力を素直に生み出すこと。これはスポーツの場面だけではなく生活の中、仕事の中でも生かされる考え方だと思います。

今回はスイムが色々な条件の中で1km短縮、1.5kmになりスイムのアドバンテージが少ないことでレース展開は変わりました。バイクは激坂三昧！個人的には最後の山で失速した感じでした。ランに移っても伸びなかった内容です。

こんな内容なので長く感じたレースでしたが、ランの後半はゴールのウッドワン美術館へ向け下っていき、これを下ってラスト2kmでこの大会の自分自身の歴史も終わるのかと寂しさを感じたものです。

想いもあったため本当に取り組みにくいきつい大会で勝手にプレッシャーをかけていたため、毎年これを目指さなくていいのか…と思うと少しホッとする反面もあり複雑です。私を世に出してくれた大会でもあるため、今回は特にテレビやラジオによく呼ばれました。広島FMの生放送は私の YouTube チャンネルにもアップしたので写真と合わせてごらん下さい。

この大会は番組も組まれますのでカメラが追いかけてくれます。カメラと並走されると下りで無理をしたようで今週はぎっくり腰気味で生活が難しかったり、練習ができない状況です。とはいえ今週末は福岡大会、来週は仙台大会ですので頑張ってみます。引き続きともによろしくお願いたします。

プロマインドトライアスリート 福元テツロー





前会頭細川氏・廿日市松本市長ご夫妻



友人でもある安芸高田市市長石丸氏







最後の閉幕式